

大野市報

祝福の庭に八三九名

輝かしく『成人式』

第八回目の成人の日を迎え、各公民館、婦人会、青年団が一丸となつて、各公民館で十五日午前十時から社会人として旅立つ市内八三九名の成人の門出を祝福し、赤飯を蒸し心からお祝いをし激励した。



(写真は祝福のことばを述べる大野公民館長)

昭和二十三年から、新しくこの日が設けられて、今日に至つては、この法律によると「おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」というのである。

長い二十二年間、凡ての障害を乗り越えてとにかく今日まで成長したことは、自ら生き抜こうとする生命力にあることは勿論であります。然し諸君を取りまく周囲の人々や自然の恩恵にあることを忘れてはならない。これから民法上の諸権利をうけるわけであるが、権利とともに、社会人としての義務と責任を深く自覚することが大切である。民主主義の原則を身に付けた諸君は国民としての権利を正しく用い、特に選挙権の行使こそは直接世の中をよくするか、悪

くするかを決めるキーポイントであるから責任の重大さを痛感して新鮮な感覚と真剣な気持ちでこれを行使してほしい。諸君の前途は洋々たるものであるが、然し決して坦々たる道ではない。青年の持つ純情さと理性を最高度に発揮し社会の覚醒剤としての役割を充分果たす様努めて貰いたい。

第七十一号議案で決めた、隔離病舎に収容した患者の食費、薬価の徴収条例概要は次の通りである。伝染病にかかり隔離病舎に収容した患者の給食費は、生活保護を受けている世帯は免除とし、所得税、非課税範囲内の所得の世帯は給食一日につき、飲食

物費の額の三十分の一の額で一般世帯は実費額が徴収されることになつたが、同病舎に今給食設備がないので当分給食費は徴収しない。

薬価の徴収については、患者の世帯の所得に応じ、入院一カ月または端数毎に次の額を限度として、治療に使つた薬価の実費を徴収するが、生

活保護を受けている世帯は免除される。

一カ月の所得額百円未満は五百円、二百五十円未満は一千円、五百円未満は一千五百円、七百円未満は二千円、一千円未満は二千五百円、一千五百円未満は三千五百円、二千円未満は四千五百円、二千円以上は全額となる。

今年二度目の元旦がやつてきた。いう迄もなく旧暦の元旦である。原始時代の人類にとつては、月のみちがけが生活と深いつながりをもち、特に狩猟民族はそれをもちにして生活予定をつくつていた。眉の様な新月が西の空へ静かに現れると、彼らは角笛を吹いて新しい月が始つた事を人々に知らせたものだ。所が月のみちがけは二十九日半が周期になつているので、一年に十一日の喰い違いが生ずる。そこで三年に一度三十日つけ加えてきた。大陰太陽暦がギリシャ、インド、中国をへて日本に「旧暦」と云う名でやつてきた。しかしこの暦と現行の大陽暦の両方を使うと日がずれるため、正月が二度になるのはいたし方がないのである。だからと云つて、正月の行事を二回くり返す必要もないのに、わざわざ二回とも餅をつき、二回とも仕事を休み新暦と旧暦との双方に義理をたてる風習が続けられている。▼学校ではメートル法で習い、家へ帰ると親は尺寸法で測らず、洋服紳士が家ではドテラだつたり、モーニング姿と振袖が結婚したり、まことに生活が複雑すぎる。こんな所に「日本の矛盾」を生む遠因があるのではなからうか

食費、薬代を徴収

第12回定例市議会て可決

▲議案第七十一号、大野市隔離病舎患者食糧費薬価徴収条例制定について

▲議案第七十二号、大野市危険物取締条例の一部改正について一可決

▲議案第七十三号、大野市火災予防条例の一部改正について一可決

▲議案第七十四号、市有林植伐計画実施の契約締結について一可決

▲議案第六十七号、昭和二十九年大野市一般会計歳入歳出決算について一可決

▲議案第六十八号、昭和二十九年大野市一般会計国民健康保険歳入歳出決算、並びに同年度特別会計大野市国民健康保険直営富田診療所歳入歳出決算認定について一可決

▲議案第六十九号、昭和二十九年大野市特別会計土地地区画整理事業歳入歳出決算認定について一可決

▲議案第七十号、農業振興五カ年計画について一可決

▲議案第六十七号、議案第六十八号、および議案第六十九号は、審議未了のまま一月二十日、継続審議を決め午後六時二十分閉会した。

一月二十日、継続審議の件については、決算委員会を設け、同議案の審議を委員会に付託、議案第七十一号を可決したのち、有中敷地問題、その他について質疑応答が行われ、午後六時二十分閉会した。

〔決算委員会委員〕

▽委員長―石田政治

▽副委員長―土城甫

▽委員―原健男、加藤哲次郎、松田操、白崎吉二、神田一栄の各氏。

昨年十二月二十四日午前十一時四十分から下庄出張所で開かれた第十二回定例市議会の提出議案は次の通り

▲議案第六十七号、昭和二十九年大野市一般会計歳入歳出決算認定について一可決

▲議案第六十八号、昭和二十九年大野市一般会計国民健康保険歳入歳出決算、並びに同年度特別会計大野市国民健康保険直営富田診療所歳入歳出決算認定について一可決

▲議案第六十九号、昭和二十九年大野市特別会計土地地区画整理事業歳入歳出決算認定について一可決

▲議案第七十号、農業振興五カ年計画について一可決

▲議案第七十一号、大野市隔離病舎患者食糧費薬価徴収条例制定について

▲議案第七十二号、大野市危険物取締条例の一部改正について一可決

▲議案第七十三号、大野市火災予防条例の一部改正について一可決

▲議案第七十四号、市有林植伐計画実施の契約締結について一可決

▲議案第六十七号、議案第六十八号、および議案第六十九号は、審議未了のまま一月二十日、継続審議を決め午後六時二十分閉会した。

一月二十日、継続審議の件については、決算委員会を設け、同議案の審議を委員会に付託、議案第七十一号を可決したのち、有中敷地問題、その他について質疑応答が行われ、午後六時二十分閉会した。

〔決算委員会委員〕

▽委員長―石田政治

▽副委員長―土城甫

▽委員―原健男、加藤哲次郎、松田操、白崎吉二、神田一栄の各氏。



今年二度目の元旦がやつてきた。いう迄もなく旧暦の元旦である。原始時代の人類にとつては、月のみちがけが生活と深いつながりをもち、特に狩猟民族はそれをもちにして生活予定をつくつていた。眉の様な新月が西の空へ静かに現れると、彼らは角笛を吹いて新しい月が始つた事を人々に知らせたものだ。所が月のみちがけは二十九日半が周期になつているので、一年に十一日の喰い違いが生ずる。そこで三年に一度三十日つけ加えてきた。大陰太陽暦がギリシャ、インド、中国をへて日本に「旧暦」と云う名でやつてきた。しかしこの暦と現行の大陽暦の両方を使うと日がずれるため、正月が二度になるのはいたし方がないのである。だからと云つて、正月の行事を二回くり返す必要もないのに、わざわざ二回とも餅をつき、二回とも仕事を休み新暦と旧暦との双方に義理をたてる風習が続けられている。▼学校ではメートル法で習い、家へ帰ると親は尺寸法で測らず、洋服紳士が家ではドテラだつたり、モーニング姿と振袖が結婚したり、まことに生活が複雑すぎる。こんな所に「日本の矛盾」を生む遠因があるのではなからうか

納税率の向上に感謝

今後の適正課税に努力

市税

昨年末、市税徴収に際しては納税者各位の御協力により、納税率は昨年比し相当向上致しました事を深謝致します。ことしは課の総力を挙げて市税の適正

なる賦課を計ると共に、市税滞納金の完全徴収を実施し、急迫せる市自治財源の確保を計り、市政の運営に寄与致したいと存じます。市民各位の御協力と御鞭撻をお願い致します。なお年末徴収に当りましては全職員がこれに当りました関係で、凡ゆる点不慣不行届の点があり、皆さんに御迷惑をかけた事事を市報を以てお詫びします。

市区長会長に

笹島竜人氏

昨年十二月二十一日、大野公

市の有権者数 25,380人

「選挙人名簿」定る

客年九月十五日現在で調製した基本選挙人名簿は十一月五日から同月十九日

まで縦覧に供し、十二月二十日次の通り確定しました

投票区別	投票所	男	女	計	備考
第1投票区	有終西小学校	1,355	1,643	2,998	大野
第2 "	浄勢寺	715	917	1,632	"
第3 "	有終南小学校	1,314	1,610	2,924	"
第4 "	円徳寺	1,163	1,378	2,541	"
第5 "	小山小学校	552	554	1,106	山側
第6 "	大野市役所乾側出張所	416	475	891	庄
第7 "	下庄小学校	1,144	1,298	2,442	下庄
第8 "	" 庄林分校	289	338	627	"
第9 "	" 中保分校	350	375	725	"
第10 "	上庄小学校	850	973	1,823	上庄
第11 "	若生子小学校	102	127	229	"
第12 "	宝慶寺小学校	60	54	114	"
第13 "	上庄小学校木本分校	302	335	637	"
第14 "	上庄小学校五条方分校	265	300	565	"
第15 "	" 吉分校	264	296	560	"
第16 "	大野市役所五箇出張所	93	85	178	五箇
第17 "	下打波小中学校	69	83	152	"
第18 "	打波小学校	119	115	234	"
第19 "	" 小池分校	15	21	36	"
第20 "	阪谷小学校	516	536	1,055	阪谷
第21 "	" 第1分校	332	360	692	"
第22 "	" 第2分校	176	176	352	"
第23 "	富田小学校	819	907	1,726	富田
第24 "	巖生小学校	327	342	669	"
第25 "	森目小学校	180	183	363	"
第26 "	勝原小学校湯上分校	27	36	63	五箇
第27 "	打波小学校嵐分校	23	23	46	"
合計		11,837	13,543	25,380	

民館で、大野市区長会総会が開かれ次の通り役員を決定。

- 会長 笹島竜人 春日二
- 副会長 新谷樵 東中
- 会計 永川直治 新庄
- 監事 西川長農 尾永見
- 北川勘三郎 八町
- 田中留男 七板
- 齋藤八兵衛 下打波
- 林達也



主事 野崎四郎
教育委員会庶務係長を命ずる
昭和三十一年一月十日付
大野市教育委員会事務局職員に任命する
昭和三十一年一月一日付

一、所得割等の税率調整

国税である所得税および法人税の減税に伴って、市民税が減取とならないよう、その税率について措置が講ぜられた。すなわち個人の市民税の所得割のうち、所得税額を課税標準とする第一課税方式(五箇地区)を採用する場合には従来の一五割の税率百分の一三が百分の一五割の税率百分の一八に改正になったこと。法人税割についても地方税の税収に影響を及ぼすことのないよう、法人率の税引上げが行われた。

二、特別徴収の強化

従来は、市町村がその条例で特別徴収制度を採用する旨定めをした場合に限って、特別徴収の方法によつて、徴収することができるものとされてきたのであるが、今度の改正では、原則として特別徴収をすることにも市町村が条例を以て定めれば、納税者からの反対の申出がない限り、給与所得以外の所得にかかる所得割についても、特別徴収の方法によつて徴収することができるものとされている。

三、法人均等割の申告納付

法人均等割について、従来のある。

四、法人等の非課税の範囲

市町村民税を、非課税とされる各種協同組合の範囲を事業額の取扱いに準じ、積立金額が出資総額の四分の一に達しないものに改め、昭和三十一年度分の市民税から適用する。

六、自轉車荷車税の改正

原動機付自転車の標準税率(現行五百円)はその総排気量または定格出力の区分に応じて、五百円、八百円、千円の三種に定められ、昭和三十一年度分から適用されることになった。

五、固定資産税基準年度について

地方税法の改正

土地家屋については、従来自治庁の指示に基づき毎年一月一日現在で所有する土地家屋について、評価額を決定したのであるが、今度の改正で、その評価した評価額が据置かれることになった。

七、市たばこ消費税の改正

市たばこ消費税の税率は、現行の一五百分の一〇から百分の一に引上げられ、昭和三十一年三月一日から適用されることになった。

昭和三十年八月一日までの期間に対応するものについては日歩四、昭和三十年八月二日以後の期間について日歩三の割合でこれを納付することとなる。以上簡単であるが、今回改正された地方税法改正を要約したが、要するに現在地方財政は極度の窮状に追つめられていると、税務行政の完全な運用と納税者各位の協力に依つて、市政が健全に運営される事が強く望まれるゆえんである。

議会、市税が圧倒的

市報抽出調査の結果

市と市民を結ぶ融和連絡機関としての市報が、どうしたら市民から親しまれ愛読されるかということは、編集者にとらずに、常に頭を悩ましてゐる処であるが、最初の試みとして、市報に対する関心度について客年十一月、市内各地区へ戸数の一割を対象に九百枚の抽出調査を各区分長さんに依頼して実施した。

十二月末ようやく二百余枚が回集されたのでその結果を左にお知らせして、御回答下さった方に謝意を表すると共に、市民の皆さんの御参考に供たい。

なお市報に対し明るい＝ユース、或は市に対する御意見や批判はどしどし御投稿下さい。「声」の欄に責任者の回答を添え掲載します市報読んでいる 九七・三% 保存している 四〇・四% 記事の内容では 八二・八% 議会の記事 七八・七% 市税のこと 七七・八% 市民の声

農事メモ

今月の行事 六四・九%
 地区だより 六二・五%
 告知板 六一・三%
 風土記 五五・六%
 五三・七%
 明らか市民たち 四七・八%
 グラフを眺めて 三五・四%
 その他 一八・九%

今月の行事

五日(日) ▽雪の彫刻コンクール 六間通り ▽大野市中体連スキー大会 阪谷向山スキー場
 七日(火) ▽西校卒業児童、入学児童の種痘
 八日(水) ▽小山校卒業

児童、入学児童の種痘
 九日(木) ▽西校卒業児童、入学児童種痘検診及びジフテリア予防注射

新入学児童の

居住している
 昭和二十四年 四月二日から
 昭和二十五年四月一日までに生れた方でありませう。
 右に該当するお子さんの御家庭へは、既にお知らせしてあります。

父兄の方へ

難の場合には、医師の証明書と、その事由を証するに足る書類を添えて、就学猶予又は免除願を市教育委員会に出して下さい。

十日(金) ▽小山校卒業児童、入学児童種痘検診及びジフテリア予防注射
 上旬 ▽多収穫及び包装

の表彰

▽農業普及部落座談会 ▽農業振興計画講習会
 十二日(日) ▽第八回県体冬期大会 荒島スキー場
 十三日(月) 下庄校卒業児童、入学児童種痘
 十四日(火) ▽南校卒業児童、入学児童種痘 ▽戸籍事務研究会
 十五日(水) ▽下庄校卒業児童、入学児童種痘検診及びジフテリア予防注射
 十六日(木) ▽南校卒業児童、入学児童種痘検診及びジフテリア予防注射
 十九日(日) ▽第十回クラブ高校対抗スキー大会兼福井県選手権大会 六呂

師スキー場
 二十日(月) ▽上庄校卒業児童、入学児童種痘
 中旬 ▽農事研究発表会
 ▽青少年問題協議会
 二十一日(火) ▽乾側校卒業児童、入学児童種痘
 二十二日(水) ▽上庄校卒業児童、入学児童種痘検診及びジフテリア予防注射
 二十三日(木) ▽乾側校卒業児童、入学児童種痘検診及びジフテリア予防注射
 二十七日(月) ▽小山校卒業児童、入学児童種痘
 二十九日(水) ▽小山校卒業児童、入学児童種痘検診及びジフテリア予防注射

グラフを眺めて

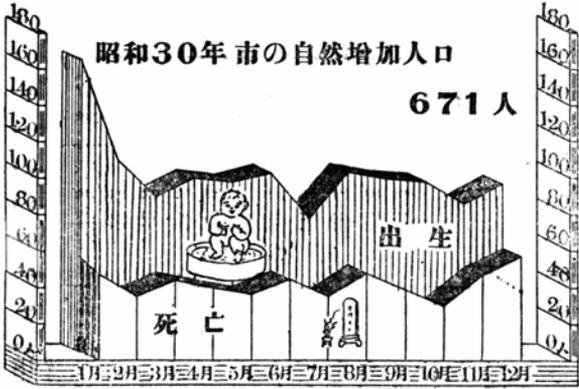
当市人口の自然増加は年々六百余人であるが、国勢調査の結果は減少している。それは何故か。

恵まれた地下、山林の大自然を開放、越美北線早期開通による大工場の誘致、産業開発に、挙市一丸となり他市への労働人口の流出を食い止め、大大野市建設に邁進しよう。

「人生五十年」と云う言葉は今では適用されなくなり昭和二十八年調では男子六十一・九才女子六十五・七才となつています。人間の平均寿命が延びるのは病気の予防や、その治療医学の進歩により死亡率が減少

産業開発が 市外流出を防ぐ鍵

さて、昭和二十五年の国勢調査を基点として大野市の出生、死亡をみると、出生は、昭和二十六年一、二八〇人、同二十七年一、一〇一人、同二十九年



一、一五九人。死亡は、昭和二十六年一、五二三人、同二十七年一、五三二人、同二十八年一、五二二人、同二十九年一、四八七人となつており、昭和三十年の自然増加を含むと実に三千三百八十四人の自然増加人口を示しているが、この五年間の増加数はちようど阪谷地区の人口に匹敵している。

国勢調査結果と昭和三十年の国勢調査結果を比較してみると、後者の方が七百十五人減少で、四万四千七百七十九人である。この結果からみると市の人口は年々市外へ流出していることがわかる。この流出人口を食い止めるにはどうすればよいか。

即ち恵れた山林地下資源の開発、商工業の発展等により一段の努力、工夫がなければ、大野市の発展も期されないのではないだろうか。

(グラフは昭和三十年の月別出生、死亡数を示す)

二十四名を表彰

米麥品質の向上と包装改善

市内産米麦の品質および包装をよりよくし、商品価値を高める目的で、昭和三十年産米麦を基礎に、その優良者を表彰することにちなり、農産物検査法に基づき、

- (表彰式は二月十日の予定)
- 〔大野地区〕 佐藤謙治 (横)
 - 〔松山賢一 (篠原) 松田長七 (春日)〕
 - 〔下庄地区〕 大久保孫兵衛 (太田) 小池忠助 (上中野) 北川万吉 (高蒲池)
 - 〔乾側地区〕 北山篤 (尾永見)
 - 〔田中勝丸 (矢) 富田一 (下丁) 小山地区) 水口与作 (上荒井) 山本環 (下舌) 水野茂兵衛 (鐵掛)
 - 〔上庄地区〕 南部登 (下据) 前田広 (下郷) 兩川健 (友兼) 長谷川佐喜藏 (木本)
 - 〔富田地区〕 宮腰吉三 (土打) 松山次大 (川上) 船山小太郎 (唯野) 酒井清 (土打)
 - 〔阪谷地区〕 田中由松 (柿方島) 伴藤五郎 (六呂師) 中川忠 (松丸)
 - 〔五箇地区〕 林庄左衛門 (西勝原) 以上二十四名。

等級	入賞者氏名	住所	品種	株数	坪当り容量	重量	推定反收
一等賞一席	松井正市	阿難相地頭方	越南十四号	六〇・二	三九升	九九・六	五・四〇石
二等賞一席	辻昇利	中津川	六号	四七・二	四二・五	九五・〇	五・一〇
二等賞二席	中島甚太郎	五条方	農林一号	七三・八	四一・三	九五・〇	五・〇一
三等賞一席	松田齊市	新河原	新六号	六六・四	三三・三	九〇・〇	四・九六
二等	久保信男	阿難相領家	越南六号	六七・九	三八・六	九九・一	四・八五
三等	畑中六平	上黒谷	白珍子	六七・五	三九・二	九七・一	四・八四
努力賞一席	起橋甚光	松上	越南六号	六四・三	四〇・一	九二・八	四・八三
二等	広瀬三五郎	唯野	新六号	六九・九	三九・六	九〇・〇	四・七五
三等	尾崎研次郎	葛蒲池	北陸五二号	五八・八	三九・八	九〇・〇	四・七五
四席	竹内武	西大月	農林四三号	六六・二	三八・〇	八八・〇	四・四三
五席	池端六水	坂戸	農林四三号	六四・三	三三・〇	八〇・〇	四・三七

松井正市さん 一等賞に入選

米作多収獲競技会

昭和三十年度の米作多収獲競技会出品数は約二百点であったが、第一次生育審査、第二次坪刈審査をへた上、昨年十一月十八日に市役所で最終総合審査を行った結果、右の十一名が入賞と決り二月十日大野公民館



【作物】 平垣部では今月の下旬頃になると大体融雪が見られる。麦、菜種等の冬作物は融雪後なるべく早く、やや土の乾いたところを見計って追肥や中耕等の作業を行うと良い。平年の状況

で表彰式が行われる。この米作多収獲競技会は大野市のような交通に恵まれない地方の農業経営は自然米作が主要農産物となるので、市農務課が、この耕作技術の向上と増産を計り市全体の生産を高める目的で、昭和二十九年より行ってきたもので、昭和三十一年度にも多数の出品者があるよう望んでいる。

【果樹】 二月と云えば雪に覆われたり、また時々大雪に見舞われる時がある。そのような場合は雪害から護るため時々園を見廻り、柵や枝の雪を除いたり、若し枝先が雪の中に埋まつているような場合は掘り出してやる必要がある。また下旬に入つてもなお果樹の剪定が終つて

【自給肥料の手入れ】 暮に屋外に積み込まれた堆肥は酸酵も進んでおり、往々雨水の漏入するような場合も生ずるので、こうした事にならないうちに切返しを實施するか、さもなければ上部の凹みをなおして覆いを完全にしよう、注意が必要である。また積込みの周囲の溝は常にきれいにさらえて、堆肥の積まれた所へ浸水し肥効の落ちないように手配する事が大切である。

【畜産】 この月は年中で最も寒い月であり、餌等も片寄り易い月であるから、特に妊娠には注意を払つてカルシウム分の補給とか、急激な夜冷えに体をさらしたりして流産をさせない様注意する事が大切である。

【養蚕】 接木用穂木の採取と貯蔵母株は品種が正しくて、病害にかかつていないことが前提条件である。なお前年の夏秋蚕に葉をついていなくて、穂木の芽がしつかりして節の長さが規則

いない園や、昨年に粗末な剪定のまま放任してある柿は、更に仕上剪定を厳寒期を過ぎたら早速行う必要がある。

【蔬菜】 早熟栽培では育苗の成否が総てを左右する。特に床土は腐熟有機物が多くて、病菌のないものを選びねばならない。自信のないものは焼土して消毒する事が必要である。また床温を保つためには熱源を多くする事よりも、北、西側に防風垣を設けることや、柵の周囲を厚くして保温を充分する事が更に大切な点である。また柵の面積をできるだけ多くして株間を充分与えることが早期収量を多くする鍵である。

【土壌肥料】 この時期になると農薬講座や部落座談会などが開催されるが、受講を参考に自分で樹てた設計を更に検討し合い、早急に合理的な万全の計画を樹立する事が望ましい。

【おわび】 民生委員阪谷地区石谷は伊藤里枝さん担当。

家畜の衛生に注意

【空気銃】 第十六号市報で周知の通り空気銃を所持するには県公安委員会の所持許可証を受けなければなりません。許可を受けないで、空気銃を所持している方がありましたら、早急に所持許可を受けるよう手続をして下さい。空気銃を携帯する時、次の場合以外には狩猟と同じく、空気銃も「おおい」をし、容器に入れて、直ちに発射することができないようにしておかねばなりません。ただし、狩猟法の規定により銃猟を行う場合、業務のため使用する場合、公安委員会の指定する射撃場において射撃を行う場合には容器に入れなくてもよい。

空気銃で狩猟する時は、別に狩猟法の規定により、県知事の狩猟登録を受けなければなりません。

銃 狩猟の時には 狩猟登録を

正しくよく充実し、余り細くないといけない事が必要である。穂木を貯える場所は、日陰で水はけがよく、貯蔵の期間は一月を越えないことがよい。桑園の酸度検定一応枯損株や病株の掘り取りを行い、三、四月補植の準備を行つたり、また桑園の酸度を検定して必要量の石灰を施用しておく事が望ましい。

集う四百余名 意気も新たに出初式

新市発足以来二回目の出初式が、一月六日午前八時三十分、有終西小学校校庭に团长以下四百三十七名の精銳が勢揃いし華やかに繰り展げられた。整備された機械器具と、溢れるばかりの団員の士気は、四万五千市民の意を強くするものがあった。



(写真) 出初式の機具点検、柳ノ神社社殿で大野市の無災と消防団の無事故を祈願して、市街行進を行い六間広場に於いて分列、一斉放水式等があり、県消防課長の講評について、斎藤市長、市議会議長から、当市の消防機械器具の設備は充分でないが、団員各位の創意と努力によつて補い、市消防陣の完璧を期して市民の信頼にこたえていただきたいと激励され、意義ある出初式を終了した。

恵まれた天候に多数の市内外の来賓を迎え、人員点検、服装点検、機械器具点検、柳ノ神社社殿で大野市の無災と消防団の無事故を祈願して、市街行進を行い六間広場に於いて分列、一斉放水式等があり、県消防課長の講評について、斎藤市長、市議会議長から、当市の消防機械器具の設備は充分でないが、団員各位の創意と努力によつて補い、市消防陣の完璧を期して市民の信頼にこたえていただきたいと激励され、意義ある出初式を終了した。

訂正 前号「編集後記」中、昭和二十八年七月発足とあるのは昭和二十九年の誤りにつき訂正します。

◆納税でこの道その橋あの学校

破つて「メエーメエー」のシンボルと云われる羊の鳴き

市民の明るい動き ⑨

「新生活」が各地で盛んに叫ばれている折から、これにふさわしい衣食生活の改善をめざしている阪谷綿山羊組合を訪ねてみることにした。

農村の衣料をなんとかして自給し衣料生活の向上を計ろうと、昭和二十三年頃から綿山羊を導入したのが起りで、いまなお阪谷地区の綿山羊飼育熱は、漸次盛んになり、現在、二百頭近く飼われている。しじまを

破つて「メエーメエー」のシンボルと云われる羊の鳴き

一、造林補助金交付申請書提出(二月廿日まで)。昭和三十一年四月一日より、翌年三月三十一日までに植林し、補助金の交付を受けようとする者は、期日までに地区出張所又は森林組合に申請書を提出すること。

二、自家養苗の講習会開催戦後、特に造林事業は、治山治水或は国土開発など公共的立場から、更にまた農村振興上の立場から極めて重要視されてきました。当市内の造林事業も逐次増加を見せ、昭和二十九年年度に於ては約二六〇町歩の植

林面積に達しました。然しながら苗木の殆んどは他から購入しているような現状でありますので、一本でも多く自家養苗を実施し、造林費用の軽減を計つて頂きたく、左記日程により講習会を開催致しますから、多数受講されるようお願いいたします。

一、講習内容

二月の暦



- 1 挿苗用穂木の採取及び苗木の育て方
 - 2 稚苗の育て方
- 二、日時及び場所
- 二月十六日午前十時より 阪谷出張所
 - 二月十七日 富田出張所
 - 二月二十日 上庄出張所
 - 二月二十一日 小山出張所
 - 二月二十二日 下庄出張所
 - 二月二十三日 五箇出張所
 - 二月二十四日

市報 推選に入選 県広報紙コンクール 広報技術の向上を計る目的で昨年十一月末、福井県福井県市長会、町村会主催のもとに行われた広報紙コンクール市の部に大野市報が推選に入選、福井市が特選に入選した。

上打波道場 二月二十七日

乾側出張所 備考 降雪その他により、日時を変更する場合は改めて通知する。

声が、いかにものどかに聞えて来る。以下は伏石の組合員T婦人との一問一答(〇印は筆者×印はT婦人)

〇 お宅には何頭綿羊が飼われていますか。

× ハイ四頭飼っています。

〇 それじやあ飼料が大変です。

平和のシンボル 阪谷綿山羊組合

しじまを

× 綿羊はね、台所の屑物や野菜の残り物、豆ヘゴなどで飼われますし、夏は雑草を大変良く食べますので素人の方が考えるような困難さはありません。

〇 そうですか、それは結構ですね。綿羊一頭から毛がどれ程とれますか。

× 毛糸なら四、五ポンド、服地ですと背広一着分取れます。大きい綿羊ですと大人のオーバー1地が一着分出来ます。

〇 お宅の御主人はいつも立派な洋服を着ておられると云う話ですがみん綿羊の毛ですか。

× そうですよ。今は委託加工の制度がよくできていて、毛糸一ポンドが四〇〇円、服地一着分が二、三千元で加工ができ、光沢のある純毛品が還元されて大変嬉しいことです。何んと云つても純毛の着心地はまた格別ですね。今後は夜具も追々軽い毛布に切替えたいと計画しています。

〇 実に羨ましいことですね



無家畜であつたお宅が綿羊を飼うようになったのは稲作が見違える程よくなつたと云う近所の話があります。

〇 綿羊は肉も大変おいしいですが、

× ええ、主人が云つてましたジギスカン料理の味は又格別で、肉質も非常によく、繊維もやわらかで蛋白質が多い良肉だと云つてました。

〇 綿羊を飼うことによつて衣生活の改善向上ができ、肥料ができ、肉が取れて、草が毛、肉、肥料になるわけで一石三鳥と云う事ですね。

組合員以外にも飼育熱の高まることを希いつつ、メエーメエーと鳴く綿羊の声を後に、暮れ易い秋の日陰をふんで帰途につく

× そうですね。作物は金肥だけでは駄目ですね、やはり堆肥が必要で、特に羊肥は磷酸質が豊富に含まれているので肥料

(写真) 朝露に濡れて 鳴く綿羊



銀宿は

九年振りの大雪で奥越の二大スキー場は今大にぎわいを見せている。恵まれた大自然に鍛えるシーズンとあつて土曜、日曜ともなれば、荒島、六呂師両スキー場に押し寄せる猛者連が続く。ブルトナーの活躍でスキー場迄のバスも通いしごく便利である。両スキー場のダイヤをお知らせすると

大野三番発六呂師スキー場行
七時一〇分、九時一〇分、十一時一〇分
一三時一〇分、五時一〇分、一七時四〇分
大野三番発荒島スキー場行 八時三五分、九時三五分、一〇時三五分、一五時五分、一七時一〇分

土曜には一四時五分、一五時三五分、一八時一〇分、日曜には七時三五分、九時五分、一四時五分、一五時三五分が追加運転される。

今からちょうど九十年前の元治元年十二月五日(新暦一月四日)水戸の勤王志士武田耕雲翁より、危険は寸前に迫つた。一行八百余人が、積雪数尺の蠅帽子峠を突破し、大野郡西谷村に下つて来た浪士らは最初大垣より京都に西上しようと考えていたが、大垣方面には名古屋、桑名、大垣等の大藩が出陣しているのを、急に方向を大野郡に転じた。不意打を受けた



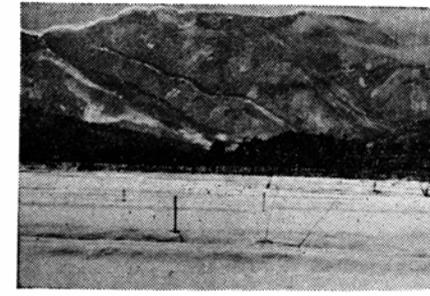
を強制的に募り、彼らを秋生、それぞれ陣容を整えた。愛国の黒当戸、本戸、中島、笹又等の各村につかわし、人民財産等の避難に当らせ、その人家三百余戸を焼払わせた。更に沿道の大木を伐倒し、橋梁を切落し、敵の通行を阻止した。ついで、大野原村に入り、蠅

大野軍は笹又峠に出陣し、砲列を布き、陣容を整えたが、戦わずして既に怯え士気振わなかつた。十二月五日には勝山軍は最勝寺、長勝寺を本陣とし、福井軍も大野に着き、勝山軍は最勝寺、長勝寺を本陣とし、福井軍は善導寺、誓念寺を本陣とし

大野軍は笹又峠に出陣し、砲列を布き、陣容を整えたが、戦わずして既に怯え士気振わなかつた。十二月五日には勝山軍は最勝寺、長勝寺を本陣とし、福井軍も大野に着き、勝山軍は最勝寺、長勝寺を本陣とし、福井軍は善導寺、誓念寺を本陣とし

水戸浪士事変と

西谷罹災地のこと



朝子の嶮を越え、秋生村に入つた。秋生村は既に焼かれていますので大部分は露骨した(つづく)

(写真：山頂左隅くぼみが笹又峠)

大野市は、例年の運動具店では、例年の予想を狂わし市外の業者からスキー注文が殺到したところ製造に大重荷、

六呂師は北陸一のスキー場



経ヶ岳の麓にある六呂師ヶ原は、三十万坪の起伏変化にとむ大高原である。冬は荒島岳の麓の荒島スキー場と共に県内外のスキーヤーで賑う。京福電鉄の下荒井六呂師口駅から徒歩で六料、伏石からは山ごしに三料余である

吹雪に乗って

東北、北海道まで大野市中狭にあるM運動具店では、例年の予想を狂わし市外の業者からスキー注文が殺到したところ製造に大重荷、

心なき市民の 猛省を促す

限られた消防力で、多数市民各位の生命財産を災害から守るには、良識を基盤とした市民の皆様が、何よりも大切であると信じます。火災による被害を、僅少に食い止め、消し易い状態に置くためには、市民の自衛措置が必要であり、また、消火活動に当る機械力を与えることが急務であります。積雪時には、現在保有する自動車ポンプは、除雪した道路以外は使用不能であります。消防スノーカーパーが、せめて一台でもあればよいと考えますが、予算の関係で購入は困難であります。

頼みにする可搬式小型ポンプでも、せめて三台位要るのに一台しかありません。

万一に備え、土木出張所や、木ノ本原開拓事務所、ブルトナーの協力を得て除雪していただき、店の前通りで入口を雪で塞いだと云つて喰つてかかる人、それも十分間か二十分間のけられる程度の雪を、戸の硝子でも割つたのならいざ知らず「さあこれをどうするんだ。早く片付けろ、元の通りにせよ」と罵倒した市民がいました。特に毘沙門通りは富田、阪谷地区を控えた主要幹線であり、街の人々も大いに喜んで貰えると考え

ての除雪作業なのに「雪を始末しなければ税金を払わぬぞ、市長をよべ、署長をよべ、人夫を出せ、出さぬのならお前の月給を出せ」と云いました。いかに公儀の私でも余りにも残念でした。私は「ただ皆様のためにやつたことですから協力して下さい。至らぬ点は私が悪いのですから」と頼んだのでした。それでもなお毘沙門通りのK氏は「なんだ警察みたいな恰好しやがつて」などと多数の前で罵倒されました。私は個人的にも又消防人を侮辱された意味においても、どうしてもこれは市民の方々に御批判を仰ぎ、心なき一部の無理解な市民の猛省を促さずにはおられないのです。消防署は消火に努めることは勿論であります。私たちが市長を中心に市民各位のよりよき公僕として、より一層消防に励み、与えられた任務に最善を尽くしたいとはかねがね心に期していることです。

(消防署勤務 永田正元)

